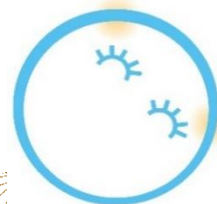


# すかはらライフケア通信

発行 菅原建設株式会社ライフケア事業部 Vol.17



木々も赤々として来ましたね。紅葉を楽しんでおられますか？立山も連日観光客で超満員!!地元にいると身近にある素晴らしい環境を忘れがちでしょうか。今一度、ふり返し、人生の味わいに変えていけるといいですね。介護で地域共生(強制???ではないよ)を強くトッパから求められる昨今。地域の良さを振り返ることで共生社会・地域コミュニティ形成の一助となるきっかけができるかもしれません。No16 で取り上げた「リンクワーカー」の役目を皆で自然に行えることが出来るといいですね



## コラム 要介護 1、2 を総合事業へ移行！？意見の違い鮮明

社保審・介護保険部会で、要介護 1、2 の利用者を対象とする訪問介護と通所介護を市町村の総合事業へ移す構想が取りあげられた。自治体や介護現場の関係者からは反対意見が続出。現役世代や企業の立場を代表する委員からも、慎重に検討を進めるよう促す声があがった。厚生労働省も市町村の立場を尊重したいと説明しており、次の 2021 年度の制度改正で全国一律に断行される可能性は極めて低くなっている。しかし・・・関係団体はそれぞれ意見の違いを見せています。(※どの意見が改正の重点となるのか!?)

- ・この構想の推進者：財務省、経団連は右肩上がりの給付・保険料の抑制につなげたい。  
経団連の井上常務理事は、**財源、人材に限りがある。より専門的なサービスを要する重度者に重点化すべき。軽度者へのサービスは総合事業へ移してほしい。**と要請。
- ・健康保険組合連合会の河本常務理事は、**大きな方向性としては移行を目指すべきだが現状の総合サービスなどが十分に育っていない。**今は効果的・効率的な取り組みを期待するのは難しい。との認識を示す。
- ・市町村代表：香川県高松市の大西市長は、**総合事業も担い手の確保が大きな課題。**それが解消する見込みもない中での移行は現実的ではない。と、くぎを刺した。
- ・日本介護福祉会の石本会長は、**軽度の状態から支援を行わなければ真の自立支援は図れない。**と主張。
- ・認知症と家族の会の花俣常任理事は、**何度でも言うが、そもそも要介護 1,2 は決して軽度者ではない。**  
**皆さんの意見はどこに近いですか。**私は花俣常任理事の意見に賛同します!!父は左半身麻痺で要介護 2 の時期が 2 年ありました。症状と介護する家族にとってこれは軽度と言えますか???

レンジde  
旬なレシピ!!

## レンジde もっちり蓮根饅頭

介護の現場で健康に関する話題は多いのではないのでしょうか。  
菅原ライフケア通信では旬な食材を使ったレシピを紹介しております。  
健康管理は食にあり!!  
美味しい旬な食材を使い季節感と一緒に味わいましょう♪



【コツ・ポイント】  
アンを作るときだまができないように気を付けること!!

### 【材料 1】～蓮根饅頭～ (5 つ分)

|     |                 |
|-----|-----------------|
| 蓮根  | 1 パック<br>(2 本分) |
| 片栗粉 | 大さじ 1           |
| 鶏ガラ | 小さじ 1           |
| 生姜  | 1 かけ            |

### 【材料 2】～アン～

|               |       |
|---------------|-------|
| めんつゆ(3 倍)か白だし | 30CC  |
| 水             | 15CC  |
| 酢(白だしの時はなし)   | 小さじ   |
| 片栗粉           | 小さじ 1 |

### 【作り方】

- 1 蓮根の大きい方をすりおろし、もう 1 つを荒いみじん切りにする。生姜もみじん切りにする。
- 2 水分を軽く絞り、混ぜ合わせる。
- 3 片栗粉、鶏ガラをいれ混ぜる。
- 4 ラップに 5 等分ぐらいに分け、巾着のようにする。
- 5 600W のレンジで 5 分加熱し、できたら器に盛る。
- 6 アンの材料をいれよく混ぜ、レンジで 30 秒あたため、出して混ぜる。これをとろみがつくまで繰り返す。
- 7 できたら先程の蓮根饅頭にかけ出来上がり!!



## 住宅改修 菅原建設ライフケア事業部が大切にしていること!!

少し考えさせられる住宅改修の案件がありましたので掲載します。手すり取付 4 か所の住宅改修依頼がありました。いつも通りに改修していたところ利用者様から追加の依頼を受けました。内容は過去に取り付けた手すりがグラグラしていて不安だからそこも見してほしいとのこと。確認したところ、壁の裏地が無い所に手すりが取付られていました。これでは体重を手すりに預けてしまうと壊れてしまいます。そこで、安心してご利用頂けるように取り外して受け板をつけて再設置としました。安全で安心して頂いてこそこの住宅改修。また、ご利用者さまの状況に合わせて意外な工事内容となることも一般の住宅改修と異なる点。些細なことがご利用者さまにとって大きなものだと感じています。

《before》



根元がグラついてら～  
壊れて怪我でもしたら  
こりゃ～ 大変だ!!  
手直しなら任せろって



【担当者のコメント】

1 度施工されている箇所の為、介護保険での住宅改修は出来ないだろうと思ったのですが、利用者様の負担が少なる方法はないかと当該市町村に確認したところ、不安定な手すりが付いている方がかえって危険なため、修復箇所が分かるように写真などを提出すれば保険対象とすると返事を頂けました。ご利用者さまに報告したところ喜んで頂け、最初からしっかりしたところに頼まないとねと言われ嬉しさと同時に改めて身も引き締めました。

《after》



手直しも住宅改修対象となりました  
(案件ごとに確認必要)

下地のない壁への手すりの取付は  
受け板がいますね

2019/10/15

今までは体重をかけるのは不安でした  
これで安心して歩けます！

